

C. アーカイブ資料取り扱い体験（11～14回）

対象とする資料の全体について、そのもととなる記録を作成した個人や組織体について調べ、どんな活動の末その記録が資料として残されたかを調べてもらいます。可能な場合、どれを残しどれを捨てるべきかも考えてもらいます。（Bの本の3章と対応）

具体的に資料へ番号や名前を付け、どんな内容の資料があるか、調べてもらいます。資料の様子を書きとめ計測し、必要な場合写真で撮影します。（Bの本の主に4章と対応）どうやったらその資料を永久に残すことができるか、その手当てのしかたを考えてもらいます。（Bの本の主に5章と対応）

なお、参加者の関心により日本語の前近代のアーカイブ資料を対象とすることがあります。そのときは日本語古書体の解読の説明が含まれることがあります。

D. 試験（1回）

輪読してきた文献や取り扱い体験に関わるクイズ（筆記）と、取り扱い体験の一部の作業（実演）をしてもらいます。

E. まとめ（1回）

試験の回答例と実演の模範例を示し、それぞれ出題意図を説明して、アーカイブズへの理解や取り扱いをふりかえります。あわせて日常生活と記録・アーカイブズとの関わり（の可能性）を、あらためて考えてもらいます。

【履修要件】

後掲「参考書等」のうち、新書は、日本語で分量も比較的少ないので、事前に（または履修と並行して）読んでおくようにしてください。また、可能なかぎり後掲「教科書」と同じ著者の文献（ARCHIVAL PRINCIPLES AND PRACTICE）も目を通しておいってください。

【成績評価の方法・観点】

出席状況、輪読時の発表、課題、資料取り扱いの記録（レポート）および取り扱い内容の正しさ（講義内容、教科書、参考文献に照らして）、試験により総合的に評価します。詳細は授業中に説明します。

【教科書】

Jeanette White Ford 『ARCHIVAL PRINCIPLES FOR CHURCHES : An illustrated guide for beginning and maintaining congregational archives』（Wipf and Stock Publishers, 2002）ISBN:1-59244-088-6（[本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB07227452>）

【参考書等】

（参考書）

Jeanette White Ford. 『ARCHIVAL PRINCIPLES AND PRACTICE : A Guide for Archives Management』（McFarland, 1990）ISBN:0-89950-480-9（2018年度まで使用していた教科書。[本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB04776749>）

ブリュノ・ガラン(著); 大沼太兵衛(訳). 『アーカイヴズ：記録の保存・管理の歴史と実践』（白水社, 2021年）ISBN:9784560510421（文庫クセジュ, 1042）.[本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB07892907>）

松岡資明. 『アーカイブズが社会を変える：公文書管理法と情報革命』（平凡社, 2011年）ISBN:978-4582855807（平凡社新書580. [本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB03591033>）

安澤秀一, 原田三朗(編著). 『文化情報学』（北樹出版, 2002年）ISBN:978-4893848666（[本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB01286168>）

Ann E. Pederson. [ed.] 『Keeping archives. 1st ed.』（Sydney, Australian Society of Archivists Inc., 1987,

ILASセミナー：アーカイブ資料管理の実践(3)

vii,374p.) ISBN:0 9595565 9 1 ([本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB07590714>)
国文学研究資料館史料館(編). 『アーカイブズの科学(上・下)』(柏書房, 2003年) ISBN:4-7601-2423-3 ([本学所蔵] <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB01447527>)
Michael J. Fox, Peter L. Wilkerson; Susanne R. Warren. 『Introduction to Archival Organization and Description.』([Los Angeles, Getty Information Institute, 1998, VIII,58p.) ISBN:0-89236-545-5 (オンラインで入手可能. URL. <http://www.getty.edu/publications/virtuallibrary/0892365455.html>)
井出竜郎, 藤元由記子, 佐藤李青[ほか編]. 『アート・アーカイブの便利帖: アート・プロジェクトをアーカイブするために知りたいこと』(アーツカウンシル東京, 2016年)(オンラインで入手可能. URL. <https://www.art-society.com/parchive/project/resources/benricho.html> または https://tarl.jp/archive/art_archive_benricho/)
このほかの文献は、時間内に指示します。

(関連URL)

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000074786>(つぎの記事に注目: Jean Favier. Mankind's memory banks. (pp.10-15))
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000062882>(全体が図書館・アーカイブズ特集.)
<https://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=mdp.39015061930718;view=1up;seq=727>(The American Archivist誌編集者による(昨年度まで使用していた教科書に対する)書評.)
http://digitalpreservation.gov/personalarchiving/documents/PA_All_brochure.pdf(米国議会図書館協同イニシアチブ国立デジタル情報基盤・保存プログラム「デジタル保存」の個人資料保存のページにあるパンフレット.)
https://www.art-society.com/parchive/program_learning/p_seminar/guidebook_beta.html(アート・アーカイブガイドブック β版. PDFをダウンロード可能. 後に「β版+」が公開されている. <https://www.art-society.com/parchive/project/resources/guidebook2013.html>)

[授業外学修(予習・復習)等]

対象とする英語文献は、参加者で日本語訳を分担していただきます。分担部分以外も目を通すようにお願いします。
学内でアーカイブ資料を保存し利用できる施設等(大学文書館、各図書館・図書室、総合博物館)へ足を運び、(資料の取り扱いに注目して)見学してみてください。

[その他(オフィスアワー等)]

受講に際して、インターネット上の情報資源をWWWブラウザで調査できること、ワードプロセッサ文書や表計算データシートを作成できること、電子メールを使えること、等などの基礎的技能を求めます。
課題には、時間外に学内のアーカイブ資料を保存し利用できる施設等の見学とその結果を報告することも含まれます。

[実務経験のある教員による授業]

分類

実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

該当教員: 五島敏芳, 実務経験: 国文学研究資料館助手・助教8年(史料館, アーカイブズ研究系ほか), 京都大学総合博物館講師15年(京都大学研究資源アーカイブ)

実務経験を活かした実践的な授業の内容

国文学研究資料館歴史資料管理, 京都大学研究資源アーカイブ事業におけるアーキビストとしての経験をふまえ, アーカイブ資料管理の概要を解説し, 情報ないし記録の特質や証拠性を考えて行動する基礎能力を養う。